



学校だより 坂城っ子フエスティバル

坂城小学校



楽しかった坂フエス

六年一組

池田 汰紀

先日児童会行事である坂城っ子フエスティバルがありました。坂城っ子フエスティバルは毎年各委員会でクイズやゲームなどを考え全校であそびます。今年は六年生だから最後の坂城っ子フエスティバルでした。いつもは全力であそんでいたけど、今年は六年生だししばらくは清掃委員会の委員長なので考える立場でもありました。考える中で今年の清掃委員では分別ゲームをしようという話になり、四、五年生にも協力してもらい当日に向けて準備しました。

くわしい内容はごみの絵がはつてあるしんぶんしをさがしその絵のとおりにもえる、プラ、リサイクル、粗大ゴミの四つに分別をします。一つあつていたら一ポイントで合計のポイント数で順位を決めました。なぜこのような内容にしたのかというと、楽しみながら分別でき、勉強にもなると思ったからです。

そして当日を迎えました。ようすを見ると、なやんだり、楽しそうだったりいろいろな表情をみんないいて、少し不安だったけれども、ほとくの心は少しホッとしていました。みんなが楽しめていてよかったなと思いました。うれしかったです。



何点取れたかな！？

学年を超えて楽しむ坂城っ子

六年一組

仙田 祐月

私の学校では、「坂城っ子フエスティバル」という、年に一回全校で交流できるお祭りのようなものが、開催されます。

私達の学校には、八つの委員会があり、坂城っ子フエスティバルではそれぞれの委員会、お化けやしきやイントロクイズなどの出し物を計画しました。私は坂城っ子フエスティバルを、全校が仲良くなれる絶好のチャンスだと考えています。なぜなら、普段は同学年どうしなどと遊ぶ事が多く、あまり他の学年と遊ぶ事は少ないと思います。そこで、他の学年で遊ぶ機会を作れば、もっと仲が深まり、学年を超えて友達が出来ると考えるからです。

実際も、当日はたくさんの方が楽しんでくれていました！「楽しい！」「早くあそこに行こう！」などという声も聞こえました。私は保健委員をやつていて、出し物を運いいていたら、とても楽しんでくれてるのが分かり、とても嬉しく感じました。学校内もとてもにぎわつていて、笑顔もたくさん見られました。だから、私は坂城っ子フエスティバルを続けていつてほしいです。

最近では、グラウンドで四年生や三年生、一年生、六年生が一緒ににおにごっこをするなどして、とても仲が良いと思います。このような機会があるのは、とても大切ななと改めて感じました。

食育だより



食育・学校給食センター
82-2559



学校給食は、実際の食事という生きた教材を通して、正しい食事のあり方や好ましい人間関係を身につけることをねらいとして行われている教育活動のひとつです。

食育・学校給食センターでは、子どもたちが心身ともに健やかに成長してくれることを願いながら、安全でおいしい給食づくりに栄養教諭、調理員一同励んでいます。

学校給食のねらい

- ・体のためにより食べ方、食べ物を知る
- ・食事のマナーを身につけ、友だちと楽しく食べる
- ・食べ物の旬、生産、食文化を知る
- ・感謝の気持ちを育てる

令和5年度から給食費を無償化しています

